

第39回 免震・制振構造設計セミナー on TOKYOのご案内

テーマ:「耐震性能を高めるレシピ…… 免震・制振構造を適用する設計」

本セミナーは、2005年から19年にわたり、免震建築の設計技術の普及と、高いレベルの耐震性能を満たす手法として免震・制振構造の展開を目的として開催しております。前第37回からは、公開された耐震構造を制振構造化したS造14階の事務所建物を用いて、制振構造と免震構造を適用することで耐震性能がどの程度向上するかを示し、一方で追加される経費を概算し選択の負の要因も説明してきました。

巨大地震が多発する近年、設計過程でより高い耐震性能の要望があれば、現状では免震構法と制振構法の採用が考えられます。各構法については多くの書籍もあり、それらを熟読すれば設計は十分に可能となっています。しかしながら、建物は固有の設計条件が伴い、これらの構法による耐震性能を予測(設計)することはやや悩ましいものです。特に性能に大きく影響するものとして下記の2つの課題があります。

1. 計画地の地盤条件と想定される地震動（今回は関東の軟弱地盤と良好な地盤を対象）
2. 免震システム、制振システムの種類と選択（各2タイプのシステムを対象）

今回は、この2つの課題をサブテーマとし、基本的な設計プロセスから解説を行います

また、高い耐震性能の要望を受けた状況にあるとして、異なる建物規模のS造5階、14階の事務所建物モデルを用いて、免震構造と制振構造で設計することで耐震性能がどの程度向上するかを試行し、追加される経費も概算することで、耐震、免震、制振構造の選択の可能性を見てまいります。

2024年5月10日(金) 10:00~19:30	予定時刻(時間)
<はじめに> 近年の地震活動と制振建築と免震建築の普及状況	10:10~(5分)
Topic: 能登半島地震とその地域の免震建物の被害状況	10:15~(15分)
Sub-1: 近年の地震予測情報と計画地盤による設計地震波の設定	10:30~(45分)
Sub-2: 免震システムと制振システムの紹介 + Q&A (15分)	11:15~(30分)
<第1話> 耐震構造で設計された例題モデルの諸元と耐震性能	13:00~(30分)
<第2話> 制振化した例題モデルを用いた地震応答	13:30~(50分)
<第3話> 免震化した例題モデルを用いた地震応答 + Q&A (15分)	14:20~(50分)
協賛会社の技術紹介 + Q&A (15分)	15:30~(60分)
<第4話> 制振部材の基礎知識と制振構造化の設計フロー	16:30~(60分)
<第5話> 免震部材の基礎知識と免震構造化の設計フロー	17:30~(60分)
<第6話> 制振化と免震化の設計フローから見える選択ポイント	18:30~(:20分)
Q&A (30分)	18:50~(30分)
定員: 30名(先着順)、会場: としま区民センター 会議室 403 (豊島区東池袋1-20-10)	
参加費: 8000円、(7000円:テキストプリント出力し持参される場合)	
なお、テキスト(PDFファイル)は、メールで準備の関係上5月7日ごろまでに送信いたします。	
また、テキストと説明画面は著作権の関係で一部異なります。	

- 主催・講師: CERA建築構造設計一級建築士事務所 世良信次
- 問合せ先: E-mail: cera-design@nifty.com (申込み先メール) Tel: 090-5342-4018
- 案内情報: <http://cera.world.coocan.jp/>
- 共催: (一社)日本免震構造協会 (JSSI)
- 協賛: ユニオンシステム, SWCC, 住友金属鉱山シポレックス, 免震テクノサービス
- 申込みは、電子メールで、所属・氏名・参加費(選択:テキスト持参の有無)を記入しお送りください。申込みを受信しましたら、「受理確認と振込先」を申込み時のメールで返信いたします。